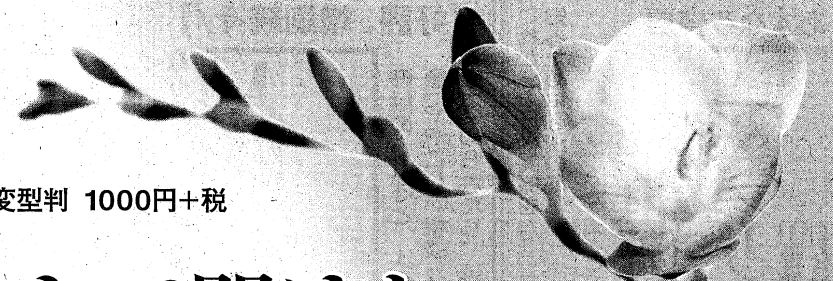


医師 長尾和宏 話題の2冊

町医者から見た
“がん”という病気の正体

がんは 人生を二度 生きられる

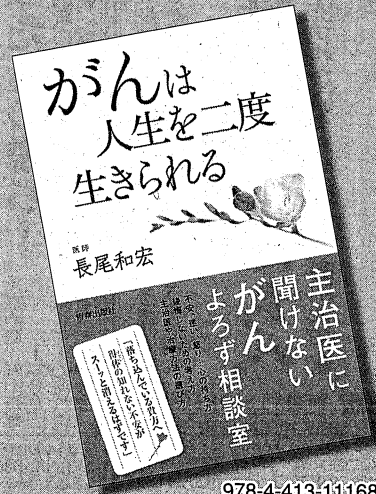
B6変型判 1000円+税



主治医には、けっして聞けない がんよろず相談室

「落ち込んでいる貴方へ、得体の知れない不安がスーッと消えるはずです」

町医者として20年以上診療していると、がんの宣告を受けたり、がん治療がつかなくて泣きながら診療室に駆け込んで来られる方が実に多いです。多くの方は、「がん=死」とイメージしています。しかし本書でお伝えしたいことは、「がん=死」では決してないこと。むしろ、「がん=第二の人生の出発点」であることです。「第二の人生だって? きれいごとを言うな!」と言う人もいるでしょう。でも本書には、きれいごとは一切ありません。町医者の本音ですから、本当は公開したくもないし、そもそもするつもりもありませんでした ……はじめにより



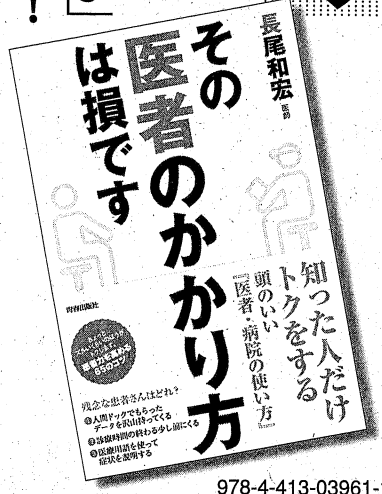
978-4-413-11168-3

●誰も教えてくれない、あなたに合う
その「かかりつけ医」の見つけ方
「患者さんの常識が医者には非常識なことがある。知らないあなたも、損な患者さんになります」

医者のかかり方 は損です

B6変型判 1100円+税

●「総合病院ならオールマイティ」は本当? ●手術が多い病院のほうが安心? ●大丈夫? ●クスリを出さない医者は名医? ●専門医と総合医、どっちが上? ●開業医は大学の病院の医者より下? ●よく話を聞いてくれるのは名医? ●心も体も救われる「正しい病院選び」
「賢い医者とのつき合い方」65のコツ!



978-4-413-03961-1